

チュートリアル課題 昨日は飲み過ぎた

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032222

2013年度 Segment. 6

課 題 No. 1

課題名：昨日は飲み過ぎた

課題作成者：神経内科学
神経内科学
神経内科学
解剖学

長尾 毅彦
飯島 睦
内山 真一郎
藤枝 弘樹



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

晋一さんは、58歳の男性。ねっからお酒が大好きです。8月のある晩、職場の部下達とビアガーデンに暑気払いに出かけました。仲間と楽しく飲み、千鳥足で帰宅してそのまま廊下で寝てしまいました。朝6時に目が覚めて、起き上がろうとした所、左手足に力が入らず倒れてしまいました。隣室で寝ている奥さんと呼んだところ「舌がもつれているけれど、まだ酔っ払っているの?」と言われました。

シート2

晋一さんも、まだお酒が残っていると思い、そのまま休んでいましたが、1時間たっても左手足に力はいりません。最初は呆れていた奥さんも、ただ事ではないと感じ、救急車を要請しました。駆けつけた救急隊員は晋一さんの呂律がまわらず、左半身に力が入らないことを確認し、直ちに救急病院に搬送することを決定しました。血圧を測ってみると188/102 mmHgありました。脈拍は88/分 整でした。

救急隊員は夜中にトイレに行ったか尋ねました。晋一さんは、5時過ぎに一度トイレに行ったがその時には異変を感じなかったことを救急隊員に話しました。

シート3

晋一さんと奥さんを乗せた救急車は、通報から30分後に大学病院に到着しました。救急外来の医師は、顔面を含む左片麻痺と構音障害を確認し、本人と奥さんから情報を聴取しました。晋一さんは、会社の健診では血圧が高いこととメタボリック症候群であることを指摘されていましたが、医師にかかっていたことを白状しました。

シート4

心電図、血液検査を受け、頭部CT検査、頭部MRI、MRA検査を施行後、直ちに入院することになりました。MRAを見た医師から、片眼が見にくくなったことはないかと質問され、そういえば1ヶ月ほど前の飲み会の時に、10分ほど右目が暗くなったことを思い出しました。

シート5

担当医は、脳梗塞急性期に血栓溶解療法があることを、二人に説明しました。しかし入院直後、収縮期血圧が180mmHgから下がらなかったため、結局この治療はできませんでした。担当医から、発症から8時間以内に実施できる別の治療法があると言われました。

晋一さんは医師からの説明を聞いて、カテーテルによる治療を受けることを決断しました。幸い治療は成功しましたが、軽い左片麻痺と構音障害が後遺症で残りました。

翌日、リハビリテーション科の医師がベッドサイドを尋ねてきたので、晋一さんはビックリしました。今日からリハビリを始めるそうです。

また、脳梗塞発病には日頃の不摂生が大きく響いていたことを聞き、深く反省することになりました。